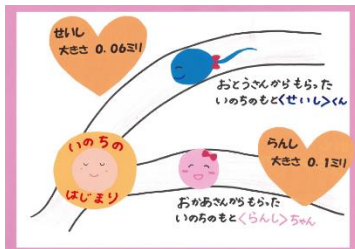


『いのちのおはなし』をしました

学校だよりでもお伝えしていたように、6月25日～7月1日は『心を見つめる教育週間』となっています。それを機に、養護教諭から全校児童へむけて『いのちのおはなし』をしました。お話の内容と、感想の一部を紹介いたします。ご家庭でも、子どもさんを妊娠した時や生まれた時のエピソードを話したり、その時の写真を一緒に見返したりしてみてもいいのではないでしょうか。

【いのちのたび】 0か月～10か月までの胎児の成長を、クイズを交えながらお話ししました。



いのちが生まれたその時、たった0.1ミリの大きさでした。おかあさんからへそのおをつうじてたくさん えいようとさんぞをもらい大きくなりました。

【いのちのたんじょう】 _____さん一家 長女 _____ちゃんの誕生の映像をみました。

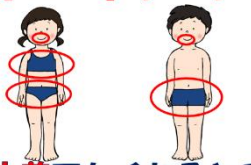
お母さんのうむ力(陣痛)をのりこえて、赤ちゃんも一生懸命がんばって、お父さんや家族も応援して。。。大きな愛の中にみんなはうまれました。一人ひとりが大切な奇跡のいのちです。

元気なうぶ声をあげて生まれました

タッチングケア(すはだのふれあい)赤ちゃんも きもちよさそうですね

【プライベートゾーン】

プライベートゾーン



口と水着でかくれるところ

プライベートゾーン

自分だけのプライベートな場所



- ・(人)に見せたり、さわらせてはいけません
- ・(他の人)を見ても、さわってもいけません

プライベートゾーンは、いのちのもとをつくる

自分だけの大切な場所

もしだれかにさわられたり、みられたりしたら・・・かならず信頼できるおとなの人へ相談してください。

【児童の感想】

あかちゃんの生まれるところをみたのはじめてなので、びっくりしました。

さんはがんばって赤ちゃんを生んで、赤ちゃんも外に出ようとがんばっていたんだなと思いました。

赤ちゃんは(お腹の中で)まわりの音が聞こえるというのをはじめて知りました。じん痛が長く続くので大変だと思いました。私もいつかこのような経験をしたいと思います。

お母さんは何時間もじん痛になってうむので、とても大変だなと思いました。これからは命をきずつけず大切にしていきたいと思いました。もう一度お母さんに『ありがとう』と言いたいです。

お話をきいて、自分が生きているのはきせきだと、とても強く思うことができました。